

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	○災害対策 年2回の火災、地震、水害想定訓練を消防署や地域の協力を得て行っている。又今年度は防犯の訓練も行ったが新人職員や訓練時不在の職員に対する周知がされていない。	何時でも起こりうることである危機感を全職員が持つ事はもとより、会議時に話題として取り上げいざという時は素早く行動できるように話し合いの場を持つ。	①全体会議やクラスタ会議に話し合ったり、実際のシュミレーションを行う。 ②新人職員、異動した職員に対しては消火器の位置やマニュアルに沿った行動ができるように指導していく。	12ヶ月
2	51	○居心地のよい共用空間づくり かえでの現在の共用スペースは食事と居間を区別した空間となっている。利用者も変わり自分の席からTVが見たい希望も出てきているので現在の利用者に合わせた環境作りが必要となっている。	利用者と職員間で話し合いの場を持ち、利用者の希望を取り入れた共有スペースづくりを行っていく。	①利用者と職員の話し合いの機会を持つ。また個別にも聞き取りを行っていく。 ②TVや必要なものを揃える。 ③定期的に聞き取りを行い居心地の良い場所であるかの確認を行っていく。	12ヶ月
3	39	○食事を楽しむことのできる支援 利用者の方々に献立について意見を聞く機会を設けているが「何でも良い」という言葉が多く聞かれる。会話の中から昔好物だった物や季節の食べ物を献立に入れ、楽しめる食事にしていきたい。	定期的に個別の聞き取りを行い献立を立て、一緒に作ったり味を見てもらったりすることで楽しい食事になるように努める。聞き取りの際は利用者が言葉を出し易い工夫も行っていく。また外食や出前も工夫をしユニット間で情報共有をしていく。	①月に数回個別に聞き取りを行う。聞き取りの際は利用者が選択しやすい工夫を行い食べたいものへ導いていく。 ②外食や出前はユニット間で情報共有していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。